

新年度の事業展望



理事長
依田 明

啓光だより

発行元

社会福祉法人啓光福祉会
東京都摩市和田一七七七
〇四二一三七五 七三〇三

昨年度は、法人として社会福祉法改正に伴う準備に追われた一年でした。

一方では施設の安全対策を改めて見直し、防犯カメラの設置や通報システム等の改善・充実にともに、職員の防災意識の向上を図りました。

また、法人三ヶ所目のグループホームを啓光学園に隣接した場所に新築致しました。

職員関係では、非常勤職員の就業規則を見直し、給料表や昇給制度を整備し、労働条件の向上を図りました。

29年度事業概要

今年度は、法人運営の方向性と経営の透明度を高め、安

定した経営基盤を築くため、中期計画の策定を進めてまいります。

大きな事項としては、学園施設が15年経過し施設の補修や狭隘化が課題となっており、具体的な実施計画を検討してまいります。

グループホーム関係では、既設ホームの契約満了に合わせ、新たな移転先の整備に向けた準備、さらには、重度障がい者向けのグループホーム整備は、在宅障がい者の保護者からも強い要望が寄せられており、用地、資金、運営等について課題整理を進めてまいります。

また、学園東隣に確保した用地の有効活用が大きな課題ですが、接道する市道が法定幅員を満たしておらず、その幅員も含め関係機関のご協力を頂きながら、検討を進めてまいります。

～「啓光ホームいずみ」開設～



この「啓光ホームいずみ」の開設に合わせて、これまでの2つのグループ

日中の活動の場に通いやすい所に位置しています。



平成29年
5月1日より、啓光福祉会で三つ目のグループホームとなる、女性

ホームと一体的かつ効率的な運営となるよう、生活支援員の増員を含めた運営体制の充実を行いました。

また、利用者の自立生活に対する支援の考え方も見直し、生活するうえで困っていることやサポートを要することに対してアセスメントを取り、課題を抽出して整理します。それによって、どこまでを自分で行い、どこからサポートを受けるのかを明確にして、サポートを受けながら自分らしい生活スタイルが確立できよう取り組んでいきます。



昨年度より、世話人と生活支援員の派遣研修を増やしました。

今年度は更に職場内研修も増やし、障害特性に対応した質の高い支援を目指します。

啓光学園

新年度を迎え、児童部では、小学校に入学された方、他の成人施設に移られた方と、新たな門出を迎えられた方がいらつしました。成人部は大きな変化はありませんが、変わらないこともまた、安定した生活が続いているということであり、喜びの一つとも思えます。

運営面に関しては、昨年度に行った「福祉サービス第三者評価」において、一昨年に比べてかなりの範囲で改善点が見られたと好評をいただきました。しかし、更なる発展のためには見直しをしていかなければならないことがたくさんあります。

今年度は、「専門知識と支援技術の向上」を目標に掲げており、外部研修の履



修量を増やすことと、職場内研修を充実させること、プロジェクトチームを発足させて支援技術の研究を行うことにより、根拠をもって支援に当たれる職員集団を目指します。

また、今年度は新たにシヨートステイの受け入れ担当職員を配置しました。

シヨートステイと日中一時利用の利用調整やサポートに関わる相談援助や、緊急時の受入れ要請に対して行政や関係機関と連携して利用調整を行っていきます。

なかまの樹

なかまの樹では現在6名の利用者が通い、活動を行っております。28年度は利用者の皆様の頑張りにより、前年度より出席率がアップしました。なかまの樹の最近の取り組みとしては、今までの活動は継続して行い、その他新規での活動を取り入れており、活動種に幅を持たせ、色々なことに挑戦していけるように試行錯誤しています。

その中の活動の一つとして昨年から「しいたけ栽培」を行っております。以前からスプラウトの作業として行っている水撒き作業を応用し、利用者それぞれが手になじんだスイッチを使用し、原本に散水を行っております。

昨年秋には少し小さめの物しか収穫出来なかったいたけど、今年春の収穫では前回と比べて大きく、肉厚なものが出来るようになっていきます。日々大きくなって



くしいたけを、みんなで確認するのが楽しみになっていきます。

まだまだ大量生産とはいきませんが、少しずつ事業所の前で販売したり、予約を頂くようになり活動に張りが出ています。

その他の活動として、作品展に向けての作品作り、木材を使った蝶ネクタイやヘヤゴムなど、利用者、職員が一緒

話し合い、意見を出し合って色々なことにチャレンジしています。



木材を使った蝶ネクタイ

啓光えがお

◎入所式

4月3日、新しく啓光えがおをご利用下さることとなった三人の方々の入所式を開催いたしました。お三方とも、三月に都立多摩桜の丘学園高等部を卒業された方々です。

ご家族や他の利用者の方、大勢の来賓の方々にご臨席いただき、新たな門出のお祝いをさせていただきました。

入所式終了後は、歌手の方をお招きして歌謡ショーで盛り上がり、お昼には市内障害福祉事業所より取り寄せたサンドイッチと、職員が調理したカットステーキやフルーツカクテルなどでお食事をしていただきました。

ご利用者数は53名に増加し、新年度も頑張つてまいります。



◎花見

毎年啓光えがおでは桜の開花を見計らつてお花見会を開催しています。



今年は見ごろの時期に雨が降る日があるなど天候に恵まれないことがありましたので、開催日を固定せず、生活介護の係ごとに、近隣の公園まで出かけ楽しみました。

また、アレルギー等で外出を控えられている方にも、施設の窓から桜を見ていただきました。

皆様には飲み物やおやつをご用意し、春のひと時をお楽しみいただけたのではないかと考えています。

平成 29 年度 事業計画

今年度は、社会福祉法改正に伴い、改めて社会福祉法人の存在意義、公共性や自律的な法人運営が求められております。そして、地域における公益的な取り組みも課せられております。

【人材育成】

そうした中、充実した福祉サービスを維持・向上していくためには、人材の育成が何よりも重要な課題です。新任職員から中堅、管理職までの職層別研修、専門研修やキャリアアップ研修の充実を図ります。

【虐待防止】

利用者一人ひとりの尊厳を重視し、主体的な自己実現を支援する視点から、虐待防止対策の徹底を図ります。特に毎月全職員がセルフチェックを行い、現状の支援を振り返り、考え直します。

【啓光学園】

今後予想される災害を踏まえ、災害時事業継続計画を策定し、職員一人ひとりが自らの役割を認識し有事に備えます。

す。また、利用者主体のサークル活動の支援を行います。現在は、マラソン部やダンス部が組織化され活動しております。

なかまの樹では、畑作業や募狩りなど新しい作業や外出を計画し、支援の充実を図ります。

【啓光えがお】

生活介護支援の一環として、働く場の提供に努めておりますが、今年度はお菓子製造部門を立ち上げ、商品開発や販路の拡充を図ります。

【啓光ホーム】

地域での生活を希望される利用者一人ひとりに合った総合的な支援を行い、いつまでもホームで暮らせるよう生活支援や娯楽の提供等サービスの向上を図ります。

【啓光相談支援センター】

利用者一人ひとりの意思に基づき、自立した日常生活が営めるよう、より充実した福祉サービス利用計画を策定するため、地域との連携を深めます。

新人職員紹介



啓光学園
生活支援係
中野 久

昨年12月から学園の2階フロアで生活支援員として働いています。

他業種から初めて福祉の世界に入ってきたため毎日勉強中です。

やる気と丈夫な体を武器に頑張っていこうと思います。どうぞよろしくお願い致します。



啓光学園
生活支援係
村松 岳郎

4月より児童発達支援管理責任者として入職いたしました。

先輩方の仕事から色々学ばせていただきながら、少しでもお力になれるように努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



啓光学園
看護師
佐藤 仰輔

今年33歳、看護師歴は8年目です。出身地は群馬県で、現在府中市に住んでいます。妻も看護師です。子供は男の子が一人います。好きなことは、サッカー観戦、ゲーム、ドライブ等です。どうぞよろしくお願い致します。



啓光学園
生活支援係
安藤 鈴奈

今年4月から啓光学園に配属になりました。

美味しいものを食べている時が幸せで、週に1度は必ず食べるほどサーモンが大好きです。始めは何かとご迷惑ばかりおかけするかと思います。が、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

おしごと紹介 (啓光学園・医務の仕事)

医務室には2名の看護師が勤務しています。主な業務は、利用者の皆様の健康管理、服薬管理です。通院の付添いや精神科相談、内科検診嘱託医の問診、訪問歯科の診察補助等も行っています。

また、支援職員など他職種の方と連携して日常生活の支援を行っています。

家族の方々とともに、利用者ご本人の健康状態や薬のことなどでお話をさせていただいています。

医務室は看護師が在室している時は、基本的に開放しており誰でも入って来られます。

職員が利用者の皆様の相談に来ることもありますし、ご本人が「足の傷に薬つけて」「今日はね」とお話をしに来る方もいます。どのような事でもできる範囲で対応させていただいております。

職員の方はもちろん、ご家族の方々も、利用者の皆様の健康面でのご心配なことや確認したいこと、医務に伝えて

おきたいこと等があれば些細なことでも構いませんので、ぜひ、医務にお声がけください。お待ちしております。



医務室の様子

編集後記

新年度が始まり、当広報の編集体制も新しくなりました。啓光福祉会には多くの職種がありますので、それぞれに携わる職員にも執筆を担担して頂き、当法人の「今」がより皆様にわかりやすくなるような紙面を目指してまいります。よろしくお願いいたします。

(広報編集委員会)